



関 宿 水 堰 と 閘 門

(利根川改修工事抜萃)

○関 宿 水 堰

位置 茨城縣猿島郡五霞村字山王地先

利根川よりの分派點、江戸川新低水路内に建設せるものにて平時、利根 江戸川の平水流量を適當に分配すると共に出水時に於ては高水呑口より流下する流入量と相俟つて高水流下量を調節す。

型式 「ストーンリー」式可動ローラー付き鋼製引揚戸を有する八門あり、扉は對重を附し手動により容易に操作するを得、尙完全を期する爲め汽力捲揚の設備を有す。

形狀寸法 一門の幅7米6、高4米5にして閘高は計畫低水位以下1米2、基礎は堰柱及び翼壁共方形「コンクリート」井筒とし其上に「コンクリート」にて軀體を設く、特に戸溝其他の要所は花崗石積とせり又水堰上下流には割栗石基礎を有する「コンクリート」水叩を施せり。

工費 842,000餘圓

起工 大正七年十一月

竣工 昭和二年三月

○関 宿 閘 門

位置 茨城縣猿島郡五霞村字山王地先

利根川よりの分派點、江戸川新低水路内に建設せるものにして出水時及び平水時に於て船舶の航通を自由ならしむるものなり。

型式 合掌式鋼製扉四枚を有し、扉室側壁内部に排給水設備を有し門扉開閉は手動装置による。

形狀寸法 長13米9、幅9米1にして扉室閘高は上扉室にて計畫低水位以下1米5、下扉室にて計畫低水位以下2米1 扉室側壁は「コンクリート」及び鐵筋「コンクリート」造にして、基礎は「コンクリート」井筒より成る、閘室内側壁下部は約八分の傾斜を有する扶壁式鐵筋「コンクリート」擁壁とし上部は兩側一割法に「コンクリート」方塊を張り且つ擁壁前面には木造防舷材を設く 閘室は割栗基礎を有する「コンクリート」方塊張を施せり。

工費 512,000餘圓

起工 大正七年十一月

竣工 昭和二年三月